

相模

第538号
令和6年10月1日

www.samukawajinja.jp
SAGAMI





相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命(さむかわひこのみこと)
寒川比女命(さむかわひめのみこと)

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発・指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当神社の創建は古く、『惣國風土記』には雄略天皇(457～479年)の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年(727年)社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年(846年)に神階從五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当神社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は広大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門、手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、総木曾檜造りの御本殿のほか、幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。

また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。

 **Instagram 公式Instagram**
samukawa_jinja_official




当神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。
※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください

 **YouTube 公式チャンネル**




当神社の祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。

 **公式LINEアカウント**




当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。

 **公式フェイスブック**




当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。ご一緒に登録をお願いします。

 **ご登録お待ちしております** 

当神社の祭典・行事のご案内を社報「相模」メルマガとしてお届けします。是非、ご登録ください。

 ◆メールは毎月1日に配信致します。
◆ホームページよりご登録ができます。
<https://samukawajinja.jp/mailmagazine/>

社報「相模」メルマガ

2 社務報告
 4 浜降祭のご報告
 5 相模薪能のご報告
 6 例祭斎行
 8 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名
 9 例祭献灯者芳名
 10 企画展「人生儀礼と神社詣」
 11 第 57 回寒川神社菊花写真展のご案内
 12 七五三詣のご案内・病院だより
 13 青少年だより
 14 禰宜退任・就任のご挨拶
 15 相模秋の歌・人事
 16 10月～12月 祭典のご案内

【表紙】
浦安の舞

【題字】
神社本庁 総長
田中恆清



【開苑期間】 3月上旬～12月13日まで
 ※毎週月曜日は休苑（祝祭日は開苑）
 【開苑時間】 午前9時から午後4時まで
 ※午後3時30分 入苑受付終了
 【施設】 ・茶屋「和楽亭」
 午前9時30分から午後3時30分まで
 （午後3時 受付終了）
 お抹茶とお菓子
 （拝服料500円より思召し）
 ・方徳資料館



かん たけ やま しん えん
神嶽山神苑
 寒川大明神との御神縁をお深めください
 ※入苑は御祈禱を受けた方に限ります。



指定神社実習受入れ



華道夏期研修会



浜降祭パネル展



指定神社実習受入れ



平和祈願祭



虫送り祭

寒川神社務報

社務報告

祭典・行事のご報告

7月

1日 天皇皇后両陛下

英吉利国御渡航還幸啓奉告祭

14日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭

15日 浜降祭

16日 虫送り祭

21日 浜降祭パネル展

(6月24日～7月21日)

8月

6・7日 華道夏期研修会

12～18日 國學院大學・皇學館大学

指定神社実習受入れ

15日 平和祈願祭

第55回相模薪能

第3期相模塾第3回講座

19日 神社庁相模湘南支部総会

24日 宮山神社周辺

道路整備工事清祓

浜降祭パネル展

6月24日より7月21日まで「浜降祭パネル展」が開催されました。

本企画は、コロナ禍において浜降祭が斎行できず、各種祭典や神輿渡御・地域氏子の皆様の神事継承などを危惧し、令和3年より開催しております。

本年も氏子の皆様に限らず、参拝者にも浜降祭の祭事の意義や当神社の神輿がどのような順路で祭場の南湖の浜まで行くのかなど写真・パネルにて展示しました。

華道夏期研修会

8月6日・7日の2日間に亘り、華道夏期研修会が巫女を対象に開催され、受講生は季節の草花を花器に

彩り、花の美しさを見出すことで、各々技術を研鑽しました。

年に1回の開催であり、今春採用の巫女はもちろんですが、巫女一同新鮮な気持ちをもって受講し、生け花の技術の向上を図るとともに、礼儀作法を学び、感性を磨いて心身ともに成長することができました。

指定神社実習受入れ

8月12日から18日までの間、神職を目指して日々勉強に励む國學院大學（東京都）と皇學館大学（三重県）の学生の神社実習を受入れました。

神職になるためには、様々な実習を受ける必要があります。座学では得られない現場の空気を肌で感じ経験を積むことを目的とされています。学生たちは期間中に社頭奉仕・祭典へ



客殿2階控室他改修工事竣功清祓



相模湘南支部祭式研修会



相模塾



改修した客殿2階控室



相模湘南支部祭式研修会



全総代会

9月

1日 寒川神社全総代会

2・4日 神社庁相模湘南支部

祭式研修会

11日 客殿2階控室他

改修工事竣功清祓

14日 企画展「人生儀礼と神社詣」

(11月17日)

19日 商工祈願祭並献灯奉告祭

例祭宵宮祭

流鏝馬神事

20日 例祭

22日 安藤由勝大人命

伊集院直彦大人命

他命等の慰霊祭

末社御祖神社

秋季霊祭並合祀祭

26日 高座氏子総代会総会

29日 末社宮山神社例祭

毎月1日・20日

月次祭(9月20日は除く)

の参列・青少年育成活動などの体験を通じて、神明奉仕の糧となる貴重な経験を得ることができました。

平和祈願祭

終戦記念日である8月15日正午より、末社宮山神社境内にある、平和塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。

「和光」は戦後20年の節目であった昭和40年に住民の総意により建立され、八角形の支柱の3本は、戦没者・遺族・国民を象徴し、上の玉は平和を表しています。

当日は猛暑の中、当神社の責任役員・正副総代長・宮山自治会役員の方々にご参列いただき、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界の恒久平和が祈念されました。

相模湘南支部祭式研修会

9月2日と4日の2日間において、県神社庁相模湘南支部主催による祭式研修会が当神社参集殿にて開催されました。

県祭式講師小野和伸先生をお招きし、神社祭式同行事作法における歩き方や拝の角度など基本作法を中心に指導いただき、神職としての基本を今一度省みる機会となりました。奉仕の基本動作を再確認し、日々の神明奉仕に活かすべく本研修は、毎年開催されています。神職の自分であります祭祀の厳修を胸に刻み、日々の神明奉仕に活かすべく有意義な研修となりました。

客殿2階控室他 改修工事竣功清祓

9月11日、本年3月より行っていた客殿(御祈祷受付所)2階の控室他の改修工事が終了しました。御祈祷を受けられる方々の控室として、清らかな気持ちになるように設えを整えて改修を行い、既に使用を開始しております。来年以降は本工事の最終段階として客殿1階の整備、改修を執り進める予定となっております。



玉串拝礼



浜祭典



御旅所祭



浜の渡御

暁の祭典 浜降祭

◆ご報告◆

猛暑奮う7月15日（海の日）、湘南地方に本格的な夏の到来を告げる浜降祭が茅ヶ崎・南湖の浜にて斎行され、当神社をはじめとして寒川町と茅ヶ崎市に鎮座している34の神社の神輿約40基が集結しました。浜降祭は、夜明けを待つ浜に朝日が差し昇る頃、神輿が浜辺を乱舞する勇壮ぶりから、「暁の祭典」ともいわれ、湘南地方の夏の風物詩となっています。

午前7時より祭典が始まると、厳しかった陽射しが和らぎ、静寂の中で執り行われました。祭典では当神社利根宮司が祝詞を奏上し地域の産業発展と海上安全が祈念され、宮司以下浜神主の鈴木孫七氏、参列者が玉串を奉りて拝礼されました。各神輿の担ぎ手が見守る中、途中、大粒の雨が降るなど梅雨明け間近の夏独特の気候を肌で感じながら斎行されました。なお、今年の南湖の浜における来場者数は約9万人（主催者発表）と発表され、各神社の活気が満ち溢れる浜降祭となりました。

◆御旅所祭◆

浜降祭に引き続き、午前10時30分より御旅所（寒川町商工会館前）にて寒川町に鎮座する寒川神社・菅谷神社・倉見神社の3社が参集し、御旅所祭が斎行されました。利根宮司による祝詞奏上、巫女による神楽舞、多くの関係者による各神輿への玉串拝礼などが肅々と執り行われました。また、祭典終了後はさむかわ神輿まつり実行委員会主催『第10回さむかわ神輿まつり』が開催され、子どもたちも神輿を担ぐ体験などを行い、湘南の夏の訪れを感じる内容となりました。

浜降祭供奉神社（参加神社）一覧 ※浜での神輿の列位順で表記しています

鳥井戸	南湖下町	茶屋町	南湖中町	南湖上町	菱沼	室田	小和田	香川	甘沼	高田	下赤羽根	上赤羽根	下寺尾	堤	芹沢	一之宮	相模國	岡田	倉見	一之宮	中海岸	十間坂	新町	本村	中海岸	今宿	萩園	柳島	中島	円藏	矢畑	西久保	浜之郷
御霊神社	住吉神社	茶屋町大神宮	八雲神社	金刀比羅神社	八王子神社	八王子神社	熊野神社	諏訪神社	八幡大神	熊野神社	神明大神	八雲大神	諏訪神社	八坂神社	腰掛神社	寒川神社	菅谷神社	倉見神社	八幡大神	中海岸神社	第六天神社	神明宮	巖島神社	八坂神社	八大龍王神	松尾大神	三島大神	八幡宮	日枝神社	神明大神	本社宮	日吉神社	鶴嶺八幡社

※供奉（ぐぶ）神社：寒川神社にお供をする神社です



狂言：和泉流 張蛸

第五十五回

相模新能



能：観世流 葵上

相模 第538号

◆ご報告◆

8月15日、終戦記念日に第55回相模新能が開催されました。昨年は直前の台風の影響によって中止となったため、本年は寒川町民をはじめとした氏子崇敬者が待ち望んだ開催となり、来場者（約950名）は能の醸し出す幽玄の世界を堪能しました。相模新能は、昭和45年より開催され、先の大戦において尊い命を捧げられた護国の英霊と戦争犠牲者の御霊をお慰め申し上げ、世界の恒久平和を祈念する神事能です。

当日は午後5時30分より相模新能奉告祭を斎行し、奉行として佐藤光氏（茅ヶ崎市 長）、副奉行として金子一茂氏（寒川町商工会会長）、亀井信幸氏（茅ヶ崎商工会議所会頭）が参列し、祭典後、火入れ式・僉議（開会宣言）が行われ開演しました。本年の番組は、半能「春日龍神 龍女之舞」（観世喜正ほか）、狂言「張蛸」（野村萬斎ほか）、NHK大河ドラマ「光る君へ」で話題となっています「光源氏」を巡る女性の争いを描いた能「葵上」（中森貫太ほか）であり、暗闇に映し出される御本殿を背に奉納されました。



半能：観世流 春日龍神 龍女之舞



黙祷を捧げる来場者

令和6年

寒川神社 例祭

【祭典のご報告】

9月19日(木)

午前10時

商工祈願祭並献灯奉告祭

午後1時

例祭宵宮祭

午後2時

流鏝馬神事

9月20日(金)

午前10時

例祭



商工祈願祭並献灯奉告祭



流鏝馬神事



流鏝馬神事(天長地久の式)

当神社の例祭は、氏子崇敬者が寒川大明神の御神徳を仰ぎ、日頃の御神恩に感謝を申し上げる祭典として、献幣使が参向され、神社本庁からの幣帛が献じられ厳肅に斎行されます。祈年祭・新嘗祭とともに三大祭の1つで、年間祭典の中で最も重儀として、9月19日・20日の2日間に亘って盛大且つ厳肅に斎行されました。

19日には、寒川大明神を崇敬する全国の寒川神社商工奉賛会々員の日々における営業への感謝と益々の繁栄を祈る商工祈願祭に併せて、神池橋前にて例祭を奉祝し、提灯を献灯された方々の献灯奉告祭、例祭前日の宵宮祭が斎行されました。引き続き、天下泰平・五穀豊穰を祈念する流鏝馬神事が(公社)大日本弓馬会によって奉納されました。

20日の例祭では責任役員・氏子総代をはじめ、全国各地の崇敬者約230名が参列されました。祝詞においては皇室の弥栄と氏子崇敬者の安寧が祈念され、御神前に玉串を奉りて日々の御加護に感謝を申し上げます。また巫女による神楽「浦安の舞」が流麗かつ厳かに奉奏され、不変なる祭祀を厳修しました。2日間に亘り、献茶・献花・奉納演芸・神輿渡御・剣道・空手道演武など各種神賑行事が奉納され、大勢の参拝者で賑わい例祭を奉祝しました。

「例祭」は、全国の神社において年に1度、御祭神や神社に特別な由緒がある日や神社の創建日などに行われる祭典です。当神社の例祭日の由緒につきましては諸説ありますが、明治44年発行の『寒川神社志』において元慶8年(884年)9月、朝廷より神階正四位下を賜り、昇階した祝祭と記載があり、由緒の1つとして考えられています。



献饌



参列者



宮司玉串拝礼



浦安の舞

令和6年 寒川神社 例祭神賑行事

【神賑行事のご報告】

例祭を奉祝しまして各種団体の皆様による神賑行事が奉納されました。

9月1日(日)～23日(月)

例祭献灯【寒川神社商工奉賛会、崇敬者】

9月1日(日)、3日(火)、16日(月)、19日(木)

テニス大会【寒川ローンテニスクラブ】

9月15日(日)

柔道大会【寒川町柔道協会】

9月19日(木)、20日(金) 両日

献茶【裏千家森久保社中】・献花【千家古流森久保社中】・献句【寒川俳壇】・

盆栽展【寒川町盆栽会】・水石と美石展【湘南石同好会】・奉納演芸【宮山総代】・

祭囃子【寒川町祭囃子保存会連合会】・作品展【寒川神社少年館】

9月20日(金)

剣道奉納演武、奉納試合【寒川町剣道協会】・空手道演武【寒川町空手道協会】・

琉球古武道演武【琉球古武道協会】・万灯パレード【立正佼成会湘南教会】・

神輿境内巡行、子供神輿境内巡行【宮山神輿愛好会】



神輿境内巡行



神輿



柔道大会



剣道大会



子供神輿境内巡行



献茶



空手道演舞



万灯パレード



献花



琉球古武道演武



祭囃子

令和6年 例祭神徳奉賛金 奉賛者芳名



〔宮山〕

中里(上)	田辺 九三殿外 26名	三六、〇〇〇円
中里(下)	室屋 辰美殿外 28名	六一、〇〇〇円
中里(河原)	川部 武一殿外 7名	一四、〇〇〇円
中里(サザン)	瀬間斗志男殿外 7名	九、〇〇〇円
馬場	袴田 達也殿外 26名	二七、〇〇〇円
雷	下向 忠光殿外 25名	二六、〇〇〇円
下	粉川 貴寛殿外 62名	六三、〇〇〇円
根岸(上)	白倉 正男殿外 30名	三五、〇〇〇円
根岸(中)	尾崎美智子殿外 7名	一、〇〇〇円
根岸(下)	北野 正行殿外 28名	三七、〇〇〇円
オリブの丘	田中 直一殿外 5名	一四、〇〇〇円
旭(東)	吉田 航平殿外 9名	一四、〇〇〇円
旭(西)	後藤 節先殿外 21名	二六、〇〇〇円
上合	福岡 昭洋殿外 16名	一八、〇〇〇円
宮山南	佐原 数彦殿外 10名	四二、〇〇〇円

〔二之宮〕

火の見下	吉川 精二殿	五、〇〇〇円
北台畑	松野 茂雄殿外 2名	七、〇〇〇円
南台畑稲荷前	小島 輝雄殿外 1名	四、〇〇〇円
富士見町	岩澤 明殿	一、〇〇〇円
西町西1	廣田 一夫殿外 14名	一五、〇〇〇円
西町西2B	谷島 俊郎殿	三、〇〇〇円
新道	剣持 勝夫殿外 3名	四、〇〇〇円
東1	廣田 俊雄殿外 1名	二、〇〇〇円
東2	鈴木 隆俊殿外 8名	一三、〇〇〇円
東6	佐藤 博殿外 3名	四、〇〇〇円
東8	遠藤 健二殿	三、〇〇〇円

仲町2	佐藤美佐子殿外 7名	一一、〇〇〇円
目久尻	福田 圭治殿	一〇、〇〇〇円

〔東岡田〕

久保地	宇田 正行殿外 5名	一八、〇〇〇円
仲町	三枝 北斗殿外 8名	一一、〇〇〇円
上町	三澤 朝江殿外 6名	七、〇〇〇円
仲原町	三澤 眞一殿外 3名	四、〇〇〇円
上町・下町	三留 辰巳殿外 6名	七、〇〇〇円

〔新町〕

南駅前通	木村 範雄殿外 1名	二、〇〇〇円
北駅前通	大久保 直殿	三、〇〇〇円
東通	内野 広志殿	三、〇〇〇円
南2	金澤 純一殿	五、〇〇〇円

〔大蔵〕

入町	門倉 敏明殿外 5名	六、〇〇〇円
----	------------	--------

〔倉見〕

大村(東1)	井上 健一殿外 6名	七、〇〇〇円
大村(西1)	田代 満殿外 5名	二〇、〇〇〇円
大村(西2)	佐藤 宏殿外 21名	二九、〇〇〇円
才戸(南)	石井 重雄殿外 1名	四、〇〇〇円
才戸(東)	青木 康弘殿外 4名	五、〇〇〇円
才戸(西)	鈴木 裕一殿外 5名	八、〇〇〇円
原(北)	城戸 敏行殿外 6名	一一、〇〇〇円
十二天(北)	藤澤 広志殿	一、〇〇〇円
新町	菅野好二郎殿	一、〇〇〇円

入町	森 匡弘殿外 2名	三、〇〇〇円
南町	川野辺津利雄殿外 13名	一四、〇〇〇円
西町	中澤 知也殿外 14名	一五、〇〇〇円
川端(東)	松野 敬殿外 5名	六、〇〇〇円
桜町(上)	川崎 健司殿外 1名	二、〇〇〇円
桜町(中)	大岩 讓司殿外 7名	八、〇〇〇円
桜町(下)	茂野喜美子殿外 4名	五、〇〇〇円

大曲	井澤 勝良殿外 31名	三三、〇〇〇円
----	-------------	---------

〔田端〕

東町	相田 孝殿外 11名	一二、〇〇〇円
宿町	石黒 秀樹殿外 24名	二五、〇〇〇円
西町	小川 哲男殿外 24名	二五、〇〇〇円
神之倉	野地 浩一殿外 15名	一六、〇〇〇円

〔小動〕

小動	蛭田 昌殿外 19名	二〇、〇〇〇円
----	------------	---------

〔講社〕

寒川神社九星会	澤津 壽道殿	一〇、〇〇〇円
---------	--------	---------

〔匿名〕

匿名	97名	二二二、〇〇〇円
----	-----	----------

令和6年 例祭献灯者 芳名

入澤 一三
 松本 學
 皆川 欽一
 青木 誠
 高橋竹材店
 中島 啓介
 前田 隆一
 株山上建設
 河西工業株
 日本精麦株
 下里自動車株
 株藤又
 株カナリヤ
 (有)寒川建材
 (有)田中写真
 村田商事株
 東木材株
 株グランドライナーマルシゲ
 株青葉
 青山大寿司
 株アサヒファーマシー一之宮薬局
 アズビル株 湘南工場
 (有)田舎鮎
 (有)井上商事
 株ウスイ植物園
 株内野不動産
 株梅屋幸
 株エフピーアンドホーム
 岡遷株
 株オーカワ
 株金子建材土木
 (福)千寿会 さくらの郷
 株金庫屋商店
 株コーメー
 (宗)興全寺

コバシ株 湘南工場
 株寒川病院
 寒川町観光協会
 寒川町商工会
 株サンエーサンクス
 湘南信用金庫 寒川支店
 昭和興産株
 神恵苑
 大黒屋製菓
 瀧川園茶舗
 露木生花
 戸塚米店
 とんかつ水龍
 中沢運輸株
 株張替工業
 (有)二葉工務店
 株フルモト
 (有)古山看板塗装
 (有)ほりむら薬品
 豊月堂
 株村松商事
 株森村ケミカル株
 株山上工務店
 ヨシカワ商店
 レンゴー株 湘南工場
 株眞原電工
 株わかかな造園土木
 (有)寒川公衆衛生社
 (有)ラテラル・テック
 株アイアール
 株アークル
 株秋江
 株秋山商事株 厚木支店
 株アクティオ
 安藤物産株

一政水産株
 株植藤造園
 株大島寅次郎商店
 (有)大角塗装工業
 大村紙業株
 小田行政書士事務所
 (有)香川第一交通
 株ガスワン南関東
 株金庫屋
 株川合工業所
 株木内
 株北岡本店
 熊澤酒造株
 倉橋 博之
 コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン株
 (医)さくまこどもクリニック
 株さんこうどう
 株サンユー
 株ジェイコム湘南・神奈川
 株シノハラ
 株湘南
 株湘南ビューティブライダル
 株湘南山鉄
 株鈴木徽章工芸株
 株鈴木製館所
 株総合警備保障株 湘南支社
 株ダイワ・エム・ティ
 株竹澤古典建築設計事務所
 株竹中工務店 横浜支店
 株永沢興業
 株長嶋園
 株中野設計工務株
 (有)ノブ・リライアブル
 株長谷川製作所
 ハッピーライフ株

原 法子
 日立Astemo株
 人の森株
 株ヒラボウ
 (有)ボデーショップ浜名
 (有)松いち食品
 丸高工業株
 百崎製菓株
 山一工業株
 株横浜貨物総合株
 株横浜銀行 茅ヶ崎支店
 株落雁 諸江屋
 株レンブランドホテル厚木
 株アイネット
 (有)青木商事
 株アクアリング
 株アクアリンググローバルズトラネジ
 株浅田水産
 株旭ファイバーグラス株 湘南工場
 株アサヒファシリテイズ 横浜支店
 株アスカ
 株阿部
 阿部 和彦
 株井上
 井上 貴之
 株エヌエーシー
 (有)今井
 今井 章博
 (有)臼井青果店
 片平 修二
 株神路社
 株関電工
 さくりなみ
 北村工務店
 (有)協和クリーニング

株健成興業
 株工房えむま
 株晃和デイスブレイ
 株サイファーム
 さがみ農業協同組合 寒川支店
 寒川ごとう眼科
 寒川神社参集殿
 寒川ロータリークラブ
 寒川ローテニスクラブ
 株シテイライフ
 柴崎 要
 株重吉
 株柔神電
 ジュノー株
 (有)杉崎設備工業
 株杉山物産株
 (有)鈴野農機
 住友電設株
 株曾我
 株タウンニュース社
 株高田
 株タカトープランナー
 株T日コーポレーション
 TNKグループ 田中組
 株日本ロードマーク株
 株ニッポン放送
 のぞみ針灸整骨院
 長谷島 征次
 ハタノ木材株
 株初家社
 (有)破魔矢奉製所
 比企野 孝幸
 フジシロ工業(有)
 株ボランチ

株舞工房
 株松井建設株
 株丸井紙店
 株三井住友銀行 湘南法人営業部
 株ミヤダイ中央社
 株森川製作所
 (有)柳沼鉄筋工業
 株結商会
 株横浜エフエム放送株
 株読売 Palette
 Lucca
 レスポールサウンド
 ローソン・スリーエラ 寒川宮山駅前店
 匿名
 (順不同・敬称略)



約240灯の提灯が献灯されました。

企画展 人生儀礼と神社詣

古来より日本人は、生を授かり天寿を全うするまで、人生の節目には神社へ参拝し、神様に感謝してきました。人生儀礼における神社詣は初宮詣に始まり、お食い初めが行われます。医療が発達していなかった時代では、子どもにとって様々な疫病を乗り越えていくことは困難なことであり、その成長を七五三詣において祈願し、成人前後には男女共に厄年を迎え、地域社会や家庭内で様々な役目を担い、社会の一因としての役割を果たしていきます。

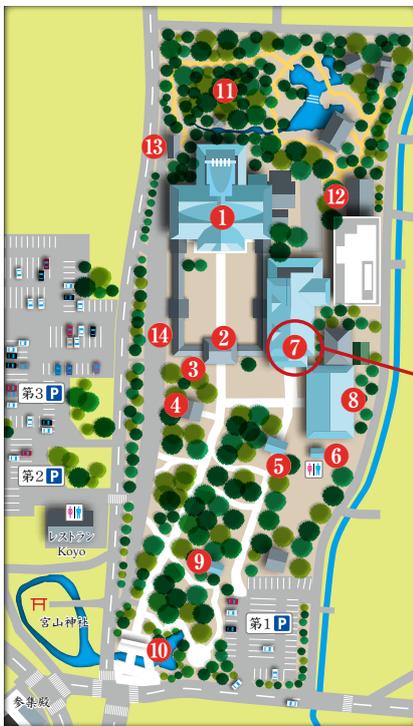
このように神社でのお参りは、日本人が生きていく中で常日頃から神様へ感謝と祈願を行っており、我々は御神前で御加護をいただけるように参拝してきました。本企画展においては自分自身の通過してきた人生儀礼を思い返し、人と神社の繋がりを改めて実感していただければ幸いに思います。



【展示期間・場所】 9月14日(土)から11月17日(日)まで 客殿1階特設会場にて開催

過去の企画展のご紹介

例年、9月から11月にかけて境内を展示会場として開催しています



こちらで開催しています

- ① 御本殿
- ② 神門
- ③ 神馬舎
- ④ 手水舎
- ⑤ 南門
- ⑥ 納札殿
- ⑦ 客殿
- ⑧ 社務所
- ⑨ 人形奉斎殿
- ⑩ 三の鳥居・神池橋
- ⑪ 神嶽山神苑
- ⑫ 方徳資料館
- ⑬ 神嶽山神苑外門受付
- ⑭ 馬場



令和2年 疫病と信仰



令和元年 御大典記念展示 践祚の儀 即位礼 大嘗祭



平成30年 天皇陛下御即位三十年奉祝 平成御大典記録写真展



令和5年 神社と震災



令和4年 こよみ展



令和3年 疫病と民間信仰

第57回菊花展 開催

～明治改元 100 年記念事業の一環として昭和 43 年より開催しています～

11月10日(日)から11月23日(土)まで開催 ※境内廻廊にて

菊花展には約200点が出品されます。寒川神社宮司賞をはじめ、金賞・銀賞・銅賞・各協賛者賞等が審査されます。観賞菊である大菊を主に審査対象としていますが、審査対象外となる奉納の菊も展示されます。

- 菊花展審査長：遠藤吉和氏 ●副審査長：高橋正夫氏
- 参加団体：寒川町菊花会、茅ヶ崎茅秋会、平塚菊花会、藤沢菊花会、綾瀬菊花会、大和秋香会、厚木秋華会、伊勢原秋豊会、宿矢名菊花会



第57回写真展 開催

写真展は、例年200点以上の作品が応募され、120点が展示されます。題材は「寒川神社に関係がある祭典、社頭風景」です。当神社を舞台に四季折々の美しい風景や、人物にスポットをあて、そこに様々な物語が盛り込まれています。

※境内に展示されていない作品は全てホームページに公開します

- 写真展審査長：写真家 丹治俊雄氏





「七五三詣」のご案内

「七五三詣」は、子どもの成長を喜び、神々に感謝し、さらなる成長を祈願する日本の伝統文化です。

- ・3歳の男女児がそれまで剃っていた髪を伸ばし始める「髪置」（髪おき）
- ・5歳になる男児は初めて袴を身に着ける「袴着」（はかまぎ）
- ・7歳になる女児には着物を着る際に帯を結ぶようになることを祝う「帯解」（おびとぎ）

◆七五三の御祈祷◆

- ・9月14日から受付中 ※七五三授与品は数量限定
 - ・五千円以上思召し
 - ・（紅白の御幣・七五三神札・御守・御神供（お菓子）・落書き帳・クレヨン・折り紙・圧縮タオル・トートバッグ）
 - ・一万円以上思召し
- （右記記載の授与品に加えて、工作バルーン・プチポット
ガーデン栽培セットを追加）

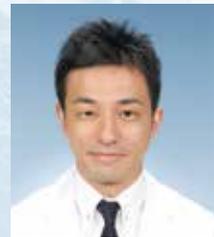
◆寒川神社参集殿◆

- ・ご会食 ・お衣装 ・写真撮影
- 各種受付しています

【問合せ】 ☎0467-75-5555
午前9時から午後6時まで

病院日より 就任のご挨拶

10月から入職しました整形外科医谷口文則と申します。関節外科、スポーツ整形外科が専門です。特に膝関節、肩関節に力を入れており、関節鏡手術や人工関節置換術を中心に外傷治療も担当しています。早期社会復帰・スポーツ復帰に向け、より低侵襲な医療を提供したいと考えておりますので、是非ご相談ください。



宗教法入寒川神社寒川病院
整形外科医 谷口文則

【略歴】

- 平成27年 神戸大学医学部卒業、横浜市立市民病院
- 平成29年 慶應義塾大学病院、済生会宇都宮病院
- 平成30年 川崎市立川崎病院
- 令和元年 伊勢原協同病院
- 令和2年 平塚市民病院 医長
- 令和5年 国際医療福祉大学三田病院 病院助教

【スポーツ歴】

バスケットボール／スノーボード／キックボクシング

【専門分野】

関節外科（膝・肩）／スポーツ整形外科／整形外科一般

【資格】

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定スポーツ医
- 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
- 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
- 日本医師会認定産業医

谷口医師 外来診療日(整形外科)

	月	火	水	木	金	土
午前	1	三谷玄弥	新福栄治 (肩)	三谷玄弥 (スポーツ・膝)	新福栄治	神部智彦
	2	藤本泰毅	中村敏之	佐藤文彦	谷口文則	小松研郎
	3	茨田晨介		山本竜星	豊村庸司	
午後	1	谷口文則	中村敏之	佐藤文彦	滝澤大智	宇都宮啓 (股関節 月2回)
	2	藤本泰毅	十河泰之			小松研郎

青少年だより 寒川神社少年館

寒川神社少年館は7月25日から1泊2日の日程で、静岡県焼津方面へ錬成会に行つて来ました。1日目は三嶋大社へ正式参拝し、セミの音が響く境内において神社の歴史や由緒について学びました。続いて大井川鐵道のSLトーマス号に乗り、茶畑や大井川の景色を楽しみながらお弁当を食べました。2日目は皆で「黒はんぺん」づくりに挑戦して、たくさん作った出来立てのはんぺんを美味しくいただきました。午後からは日本平で茶摘み体験をし、茶摘み歌にもある菅笠も被ることができました。厳しい暑さの中でしたが、学びの多い2日間でした。

また神奈川県神社庁主催「青少年書道展・絵画展」において、書道展は入選7名、絵画展では神社本庁統理賞、神社庁教化委員長賞2名、神社総代会連合会会長賞、入選1名が受賞し、8月19日に授賞式が行われました。皆さんおめでとうございます。



相模

第538号

BS
青少年だより
ボーイスカウト
★寒川第二団★

ボーイスカウト寒川第二団 発団50周年記念キャンプ



当団は昨年50周年を迎え、1年遅れとなりましたが8月5日から8日にかけて、福島県の裏磐梯にて記念キャンプを実施し、33名が参加しました。50周年という節目でもあるため、「原点回帰～基本に立ち返りボーイスカウトの本質を再確認する～」をテーマに掲げ、スカウト1人ひとりが精一杯、活動に取り組みました。現地では郡山市の開成山大神宮を正式参拝の後、カブ隊は「リゾートインみちのく」にて舎営、ボーイ隊・ベンチャー隊・ローバー隊は「みちのくキャンプ場」にて野営を行いました。期間中は天候に左右されながらも、「アドベンチャースカウティング!」を合言葉に、桧原湖でのカヤックやサップの体験、五色沼ハイキング、室内でのランタンファイヤー、会津漆器の蒔絵体験など、大自然の中での冒険や地元の伝統工芸に触れて貴重な経験を得ることができました。一方で、夏の山岳地方は天候が一瞬で変わることも経験し、澄んだ青空からどよめき渡る雷雨といった様々な磐梯山の表情も味わいました。夏の暑さにも負けずに3泊4日のキャンプを経験したスカウトは、一回りも二回りも大きく成長したと思います。今後も初心を忘れずに、「いつも他の人々を助けられる」スカウトの育成に励んでいきます。

スカウト募集中! 小学1年生以上の男女

問合せ 寒川神社少年館内
ボーイスカウト事務局 Tel.0467-74-0551

禰宜退任のご挨拶

鈴木 康宏



この度、8月31日付をもちまして、寒川神社を定年退職致しました。

私は、昭和56年に研修生として、

通学しながらの奉仕がスタートし翌57年4月に出仕として奉職致しました。爾来40数年間恙なく、大過なく奉仕させていただきました。この間、寒川大明神様の御神徳とお導きをいただきながら、寒川神社職員の先輩・同輩・後輩等のご指導とご協力を得て、更には地域の皆様と深い交流や、時には社会奉仕に共に汗を流しながら、公私共にご厚誼を賜りましたことは、誠に有難く衷心より厚く御礼を申し上げます。

私自身は奉仕を顧みるほどの実績はありませんが、その中で大いに感動したことは神嶽山神苑の建設です。平成21年に開苑して15年が経過し、現在では年間約6万人の信仰の皆様が入苑されております。構想4年・建設4年を経て、「つくろう平

成の文化財」を合言葉に、設計者・建設業者・神社が三位一体となり情熱を込めて建設されました。

百年の大計をもって御造営されました御社殿等がありますならば、百年の大業をもって実現されたのが神嶽山神苑と認識しております。そして、それは当時の多田宮司様の多田神学の集大成であり、透き通るほど深い信仰の聖地としての設えであります。神職としてこの建設・運用に携わらせていただきましたことは、とても得難い経験として私の財産となっております。今後は、近現代史上の稀有な町の財産として、信仰のまほろばとして、官民一体となってお守りいただくことを切望致します。

結びに、寒川神社の益々のご隆昌と氏子崇敬者皆々様の益々のご健勝を心より祈念申し上げます、御礼のご挨拶を申し上げます。

禰宜就任のご挨拶

井上 浩之



この度、9月1日付をもちまして寒川神社本庁より寒川神社禰宜を拜命致しました。

素より浅学非才で未熟な私にとりまして、この職責は身に余る光栄でありますとともに、その責務の重さを痛感致し、身の引き締まる思いを致しております。

私は昭和63年に縁あって当神社に奉職致しました。この頃の世間はバブル期であり大変な賑わいであったと記憶しておりますが、同じ頃、当社におきましては「御大典奉祝記念事業」また「紀元二六五〇年奉祝記念事業」と称し、境内整備事業が鋭意進められておりました。境内の様子も年を追うごとに様変わりし、そして愈々本殿のお建て替えに着手する頃、私は祭典担当の部署に配属となり、多くの祭儀に携わる機会を

得ました。その後の神明奉仕において、言うまでもなく貴重な経験を積むこととなりました。

これまで寒川大明神様の御加護の下、大過なく奉職でき得ましたことは、多田名誉宮司様、利根宮司様をはじめ諸先輩方、職員の皆様方、更には神社関係者の皆様方のご教導に依るものと深く感謝申し上げます次第でございます。今後も大明神様の御加護を仰ぎつつ、時代の変化をも感じ取りながら、更なる御神徳の宣揚に微力ながら精励致しますとともに、宮司様をお輔け申し上げて参りたく存じます。

皆様方には、何卒これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



相模秋の歌



寒川俳壇

炎昼やコモドドラゴンの日は笑う 猿渡 弥生

明け暮れを生きて晩歳合飲の花 加賀 莊介

歩かねば拾えぬ一句植田道 菅沼うめの

新茶汲みふる里の山友の顔 松本美智子

ほうたるの動かぬ闇の深さかな 岩田美代子

梅雨兆す追伸ほどの通り雨 倉谷 節子

ナイターの声援夜空に消えゆけり 菅沼 保幸

梅雨寒やしまわず置いた掛布団 金子 晴子

新茶の香湯飲みに残る深緑 伊藤 公一

炎天を言い訳にして何もせず 竹村真砂美

サンダラス取りてこれから手術待つ 須田 柚川

軒先の一角を占む梅蕊 新井 泰春

【寒川俳壇】

・昭和24年に誕生。(大正時代から不定期に開かれていた)
・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

寒川俳壇では現在、会員を募集しております。月に数回、会を催しておりますので詳しくは、教学部 教化宣布課までお問い合わせください。

相模詠草

父母よりも思い出多き祖父母なる梅雨の晴間の卵の花白し 稲垣 武子

お元気で長生きしてねのそえ書きに心ぬくもり夫と眺む日々 亀山 文子

わが庭にやさし色どりアガパンサスむらさきゆるる涼風をつれ 小林 篤子

ふるさとのリング畑に径なくも咲きてをらむ雑草の花 清水 洋一

広大のさつまいも畑に案山子なる鳥そっくり羽根広げたり 徳江 道子

「朝ですよ」吾が顔ペロペロ猫の九毎朝四時のニャンニャンニャン 土屋トミ子

梅雨まじか沈む夕陽の照かえし富士にたなびくあかね雲見ゆ 二宮 昭雄

母の日に初鳴き聞きし鶯の冴えたる声は五月の空へ 宮治友美枝

はかどらぬ日頃の家事に苛立ちぬ年には勝てぬか疎む体力 山根喜美代

一枚の葉ざしゆ育てし紫陽花の真白の花の今年も咲ける 杉本 照世

ヨン様のブーム去りて二十年懐かしくなりビデオ取り出す 瀧本三重子

【相模詠草】

・野ばら文化会(前身、婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生)による詠草。公民館まつり・短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで、生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

10月～12月

寒川神社

祭典・行事のご案内



石舞台公演

人形感謝祭

10月15日

人形の日である10月15日に当神社人形奉斎殿において、納められた人形やぬいぐるみに感謝を申し上げ、祓い清める祭典です。



神嘗奉祝祭

10月17日

神嘗祭は三重県の伊勢の神宮において天照大御神に新穀を奉献する神宮における年中最大の収穫祭です。当神社においても神宮を遥拝して、奉祝する祭典を斎行します。



第56回寒川神社宮司賞「夜明けの祭典」



第56回神社本庁統理賞「祓祓」

出品に際してのご注意

- 写真作品の著作権は撮影者に帰属しますが、展示期間終了後、当神社の広報等の目的範囲内で、社報『相模』または他の媒体にて使用することがあります。この場合、使用にあたり撮影者に対して個別にご連絡は致しませんのでご承知をお願いします。
- 出品にあたり、被写体の肖像権・著作権には十分ご注意ください。人物を被写体とされている場合は、写真展出品の承諾を得た上で出品願います。当神社は、写真展応募にかかる肖像権・著作権等の諸問題についての一切の責任を負いかねます。
- 出品された作品は返却致しません。
- 作品出品時点で、上記内容をご承諾いただいたものと見なします。

10月 神無月

15日 午前11時 人形感謝祭
17日 午前11時 神嘗奉祝祭

11月 霜月

3日 午前8時30分 明治祭
23日 午前10時 新嘗祭
10日～23日 第57回菊花写真展

12月 師走

14日 午前8時30分 煤拂祭
20日 迎春ねぶた設置
31日 午後1時 師走大祓式
並大祓祈願祭並除夜祭
除夜祭後 神徳感謝祭

毎月1日・20日
午前8時30分 月次祭



迎春ねぶた

新嘗祭

11月23日

新穀を神前に奉獻し、五穀豊穡と勤労感謝の誠を捧げる祭儀です。



師走大祓式

12月31日

知らず知らずの内に犯した罪や穢れを祓い清めて、明るい新年を清々しい気持ちで迎えられるよう祈願します。全国の氏子崇敬者が人形を納め、大祓を受けます。



第57回寒川神社写真展 ご案内

本写真展は明治改元100年記念事業の一環として昭和43年(1968年)より開催され、平成29年には第50回を迎えました。本年も下記内容にて写真展を開催致しますので、皆様の出品をお待ちしております。

募集要項

- 作品色・サイズ 白黒・カラー (6ツ切・4ツ切・A5・B5・A4・B4サイズ、ワイド可)
※つなぎ、合成・組写真は不可
- 出品点数 1人:5点以内「寒川神社に係る祭典・風景写真」 ※未発表のもの
※ホームページにおいても出品写真を公開致しますので、データ媒体を持参ください
- 応募期間・方法 令和6年10月1日(火)～29日(火)まで ※出品表を必ず添付ください
持参先:寒川神社社務所 午前8時30分から午後5時まで
郵送先:〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916 寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係
- 発表時期・方法 11月中旬に入選者のみハガキにて通知
- 作品展示 11月10日(日)～23日(土) 会場:寒川神社 境内廻廊
- 表彰式 11月23日(土) 午前10時 新嘗祭にご参列後、寒川神社参集殿にて開催予定
- 審査長 写真家 丹治俊雄氏
- 各賞 寒川神社宮司賞、金賞、銀賞、銅賞、特別協賛賞など ※出品者には参加賞あり
- 【問合せ】 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916
寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係 電話 0467-75-0004

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。
数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。



神無月
「10月」

霜月
「11月」

師走
「12月」

相模秋の歌

少年館こども俳句

大ききな ぶどうむくては むらさきだ 鈴木 幸愛
 しんまいの つぶがキラキラ ひかつてる 茂手木大雅
 小鳥来る 実りの秋の 校庭に 中山 瑚雪
 パチパチと せんこう花火 まるいたま 葎田 芽生
 台風は 快晴おいて 消えてった 北野あやめ
 ほおずきの ちいさきふえの 音色かな 千野 雅秀



寒川神社で
七五三

バック適用期間：10月～12月
衣装・着付・写真がバックに含まれます

7歳バック

59,400円～

5歳バック

42,900円～

3歳バック

女の子 39,600円～

男の子 30,800円～



寒川神社 参集殿
様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ

☎0467-75-5555



祝祭日には国旗を掲げましょう



相模國一之宮

寒川神社

JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km

次号『相模539号』は令和7年1月1日に発行します



公式 Instagram



Youtube 公式チャンネル



公式LINE アカウント



寒川神社 ホームページ

編集後記

米不足と言われていています。不作というよりも一因としてインバウンドを含んだ需要が増えたという報道もあります。神社のお祭りは祈年祭、虫送り祭、神嘗奉祝祭、新嘗祭など米の豊作を祈り、感謝することを中心として、祭典が行われています。今年もあと3か月、社報が皆様のお手元に届く頃には新米が食卓を囲んでいることを祈っています。
(俊)